

優秀賞

## 安全という免許

福岡市立博多中学校 3年 塚原 麻結

私の母はペーパードライバーです。十五年前に私がお腹にいると分かった時に、運転をやめたそうです。

でも、子供が三人できて習い事などへ送迎が必要になった時に、必要に迫られて十年ぶりに運転をした時期がありました。

その時、事故を起こしてしまったそうです。駐車中の油断による事故でした。私は小さくてよく覚えていないのですが、赤ちゃんだった弟が衝撃におどろいて泣き叫び、母が青ざめてあわてていたのは、少しだけ覚えています。それから、恐怖心が出てしまい、母はまた運転をやめてしまいました。

はっきりいって、母が運転しないのはとても不便です。大雨の日の塾等、困るのです。

「また運転してよ。免許あるんだから。」

と、私が不満気に言うと、

「免許証があるからって運転していい訳じゃない。安全にきちんと運転できる技術がないと運転はできない。」

と、言いました。ペーパードライバー向けの講習を受けるまで運転はしないそうです。

それをきいて、よく目にする、初心者や高齢者の交通事故、なくなる飲酒運転、増え続ける薬物による事故の被害が浮かびました。簡単に命が奪われている現実……。母は、事故をおこして初めて「安全」という資格こそが必要だと思ったそうです。

あと三年で、私も免許を取得することができます。私はただの免許ではなく、「安全に運転できる免許」をとりたいと思います。

現代の事故の実情は、毎日のように悲しい出来事としてニュースで流れています。命を簡単にうばう事故のことを、もっと深く大きく考えられるドライバーになりたいです。